



ジョイフル

VOL.76
2025.2.25 発行



浜松営業所 構内作業員

河合 悠佑

20代の若手が少ない中で、構内作業員として日々向上心を高く持ち、作業に励む河合悠佑さん。運送業は未経験ながらも、仕事に熱心に取り組んできた河合さんの力の源に迫ります。

現在の業務内容と、これまでのご経歴を教えてください。

フォークリフトで荷物の仕分けや運搬を行っています。2024年に南星キャリアックス株式会社へ入社する前は、製造業で検査や加工仕上げの業務をしていました。以前からフォークリフトを操縦する仕事に興味があったので、今回転職するにあたって挑戦しようと決意しました。

未経験だったフォークリフトの技術は、どのように身につけましたか。

まずはリフトスクールに通い、4〜5日間研修を受けました。自動車とは違うハンドルの操作や、後ろ向きに動くタイヤに慣れるまで時間がかかりました。「自動車のバック走行をイメージすると良い」という助言をもとに何度も試しているうちに、2か月ほどかけて感覚をつかんでいきました。

また、フォークリフトに慣れない間は、製品を運ぶ際にアクセルの感覚がつかめず、倒してしまうことが頻発。そこで、周りの人たちの運ぶ速度や、ハンドルを回す速さを研究しました。実際にやってみると話聞いていたりして、「この速さで動かすと揺れが大きくなる」「自動

車のハンドルと同じ感覚ではないかな」などといった感覚も身につけてきたように思います。

会社の手厚いサポートや親切に教えてくださる周りの方々のおかげで、未経験ながらも技術を磨けたと感じています。

他のフォークリフトが往來している状況が多いため、製品を運んでいる相手に道を譲るようになり、急ブレーキを踏まな



いよう、あらかじめスピードを落としたりなど、特別なことではありませんが、お互いの作業が円滑に進むよう小さな配慮も意識しています。

前向きに業務に取り組むための工夫やモチベーションは何ですか。

工夫している点は2つ。周囲に気を配ることと、丁寧な作業を心がけることです。移動中は周りをよく見ておかないと、衝突事故を起こしかねません。そのため、体全体で周囲を見渡すようにしています。また、私たちが扱っているのはお客様の手に渡る製品だという意識も欠かせません。

モチベーションで言えば、やはり好きなフォークリフトを扱える仕事だという点が大きいと思います。もともと車両や乗り

物が好きで、ずっとやりたかった機械仕事ですから、毎日が楽しい。好きな仕事に携われている実感が、日々の仕事に前向きに取り組んでいる秘訣だと感じています。

休日ほどのように過ごしていますか。

多趣味なので、釣りやキャンプ、バイクで神社を巡って御朱印を集めるなど、幅広いジャンルにチャレンジしています。他にも、鳥2羽と猫1匹を飼っているのも、ペットの世話をしたり、自宅でバイクのメンテナンスをしたりして過ごしています。

今後の目標はありますか。

目標は、無事故で作業をすること。製品を傷つけず、無事故

での運搬を極めていきたいと思っています。慣れてくると安全確認がおろそかになったり、スピードを出しすぎたりしてしまいますから、初心を忘れずに、これからも丁寧な作業を続けていきます。

未経験のフォークリフトの技術の上達と精力的な活動の背景には、仲間たちの支えがありました。周囲への感謝や気遣いを欠かさない河合さんは、今後も南星キャリアックスでさらなる躍進を続けていくでしょう。

